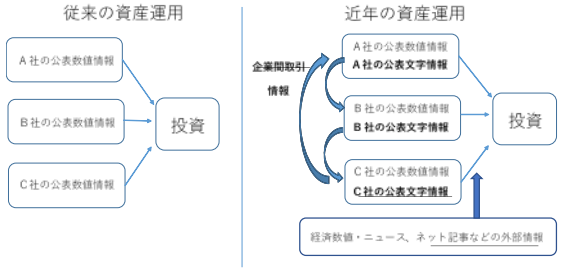
次世代資産運用モデルの開発、及び実証研究

1. 概要

従来、株式投資を行う際には企業が公表する財務データや過去の株価などを分析することが標準的であった。

しかし近年、企業に関する様々なオルタナティブデータが利用可能になっており、それらを用いた新たな株式投資戦略が構築できる環境が整っている。

本研究では2つの新たなデータを用いた投資戦略について、国内外のデータを用いた実証分析を紹介する。

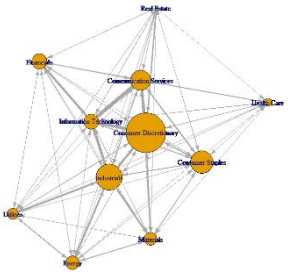


2. 企業間取引情報を用いた投資戦略

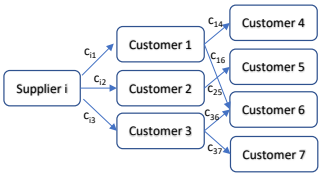
従来、株式投資を分析する際には企業の売上など一定期間の業績データを使用していた。

企業の売上は企業間取引から成り立っているため、企業間の取引構造を利用することで業績、及び株価の連動性を理解することができる。

企業間ネットワーク



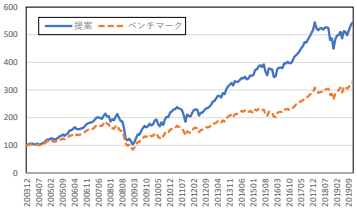
株価の伝播構造



具体的にはカスタマー企業の株価がサプライヤ企業に伝播する構造を利用することで将来の株価の予測を行う戦略を提案した。

以下は提案した戦略をグローバル市場約1600企業に適用した場合の株価パフォーマンスである。基準となる市場ベンチマークよりも高いパフォーマンスとなることが分かる。

グローバル市場での株価パフォーマンス



3. 四季報テキスト情報を用いた投資戦略

従来、株式投資の分析では業績や財務、株価などの数値情報を用いることが標準的であった。

近年、テキストマイニング技術が発達したことから様々なテキスト媒体から投資に役立つ情報を解析することが試みられている。

本研究では会社四季報のテキスト情報から株価の上昇と関連する単語を抽出する投資戦略を提案した。

会社四季報の例

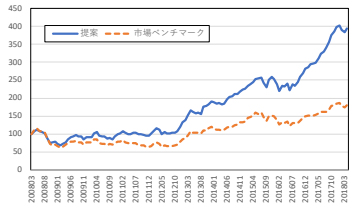
東洋経済より引用

登場単語ランキング

順位	単語	登場回数
1	営業	238974
2	増益	109335
3	拡大	92143
4	会社	91419
5	開発	69936
6	事業	67343
7	前期	66123
8	販売	63258
9	採算	57642
10	強化	57041

以下は提案した戦略を国内上場企業約2000社に適用した結果である。提案戦略の高い株価パフォーマンスが確認できる。

国内市場での株価パフォーマンス



研究者名　理工学部管理工学科　山本零

お問合せ先　rei.yamamoto@ae.keio.ac.jp